

一般質問



避難所の生活環境整備と 消防団員の負担軽減



自由民主党湖南市議団 ● 曾我部 一帆 議員

問 各避難所における、停電を想定した非常用電源の確保状況や稼働可能時間について

答 各避難所における空調設備につきましては、50か所の内47か所の避難所に設置されています。また、各避難所には非常用電源の設備はありません。持ち運び可能な発電機を各まちづくりセンター等、一部の避難所には備蓄していますが、稼働時間はガソリンの備蓄数量に限りがあるため、数時間から十数時間程度となっています。なお、小中学校の体育館の空調については、LPガスで稼働するため、燃料が満タンの状態で3日間以上は稼働できる見込みです。

● その他寝床やプライバシーの確保・避難所運用訓練・総合体育館の活用等について

問 式典や夏祭り警備における負担軽減について

答 令和7年度の湖南市消防団全団訓練において、閉会式の進行方法や来賓等の整理を行い、令和8年湖南市消防出初式では、表彰伝達方法を見直すなど、訓練や式典等の時間短縮を実施してきました。今年度の夏祭りにおいては、集合時間を遅らせるなどの配慮を行い、団員の負担軽減に向けて段階的に取り組んでいるところです。

問 ポンプ操法大会参加の見直しについて

答 消防団員の負担軽減に向け、消防団員の要望や実態の把握に努めるとともに、必要に応じて消防団幹部に対して働きかけていきます。



167億円の建て替えより 耐震補強が最良



市民とつなぐネット ● 坂田 政富 議員

問 「安価な耐震補強が最良」が、市民の声です。地球を壊してきています。今生きる私たちの責任は、地球に負担をかけないこと、地球を元に戻す努力が必要で、耐震補強へ切り替えを求めます。

答 総事業費は、約167億円見込んでいます。133億2千万円の債務負担です。

問 今後も資材の高騰を予想、事業費の上限について

答 いくら迄なら庁舎整備を進めるという答弁はできません。

問 年間の元利償還金はいくらか。

答 元利償還金7億円弱くらいを見込んでいます。

問 中央消防署移転事業損失額はいくらか。

答 損失額として評価できる段階ではない状況です。

問 失政の総括は。

答 総務常任委員会に報告する予定です。

問 政府の指針値を超えるPFOS・PFOAが、270ngが検出した。あらゆる分野で人体に入り、がんの発症、子どもへの影響等の指摘があり、市の認識は。

答 健康被害への懸念は理解しています。

問 製造・輸入が禁止されているPFASがなぜ河川に流れだしたのか、茶釜川、祖父川、長谷川、農業用水、にがり池、地下水、土壌、農産物等、調査と原因究明を求めます。

答 市として県の調査結果国の知見を踏まえ、汚染範囲と原因の把握を進めます。本市の水質調査は、PFASを対象にしています。他市町の事例を参考にしながら調査研究をしていきます。